

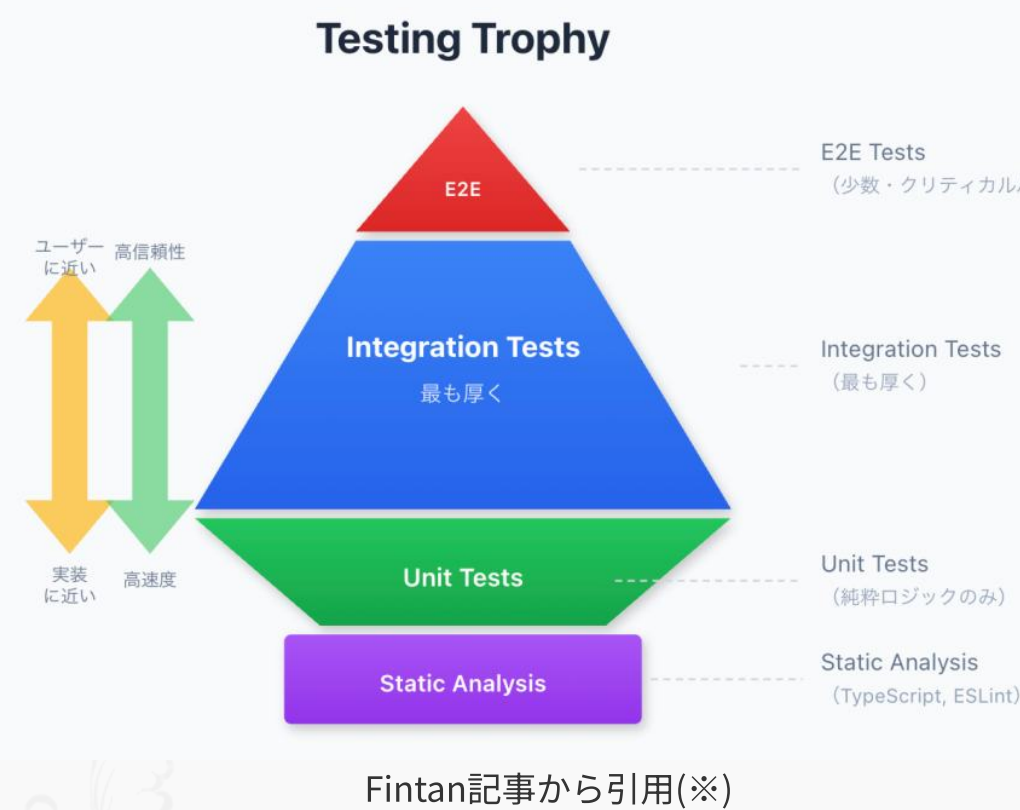
1月の新着記事

1記事が投稿されました。SPA（Single Page Application）の開発者に読んで頂きたい記事です。

MagicPod と フロントエンドテスト：Testing Trophyに基づく境界設計ガイド

[本記事](#)はReactを用いたSPAを対象に、テストのレイヤ分けの指針をガイドしたものです。MagicPodを未採用でも、SPAのテスト全般で参考になると思います。

Testing Trophyはテストのレイヤ構成モデル



記事タイトルのTesting Trophyは、SPAに向けたテストのレイヤ構成モデルです。左図のとおりトロフィー型の構造になっています。

「SPA開発で、ピラミッド型のテストモデルを採用しているが、テストに掛ける手間と成果がイマイチな気がする…」と感じている方に注目して頂きたいモデルです。

レイヤ毎に「何を」テストするか実践レベルで解説

[本記事](#)はTesting Trophyを知らなくても理解できるように、モデルの全体像とレイヤ毎の説明から行っています。また、実践時に詰まらないように、レイヤ毎に「使用技術・手段」を示し、「Unit Tests」「Integration Tests」にはテストの粒度が分かるコード例を掲載しています。

新着記事の注目単語

MagicPod

MagicPodは、TIS株式会社で導入を進めているAI型ノーコードテストツールです。

[自動テストツールMagicPodの使い方と導入時の注意点まとめ](#)(Fintan)を読んで頂くと、ツールの概要を短時間で知って頂けます。

※ 本図は[Kent C. Dodds The Testing Trophy and Testing Classifications](#)を参考に、Fintan記事の筆者が作図したものです。

特集： これからの導入に役立つ アジャイル・スクラム

Fintanの[アジャイル・スクラム](#)カテゴリには、**実践で得た知見**が掲載されています。アジャイル・スクラムの経験が浅い方に特に役立つ記事に焦点を当てて紹介します。

コンパクトに要点整理、実務までしっかりカバー

以下の特徴により、アジャイル・スクラムのチームを短時間で立ち上げる際に役立ちます。経験の浅い方に、特に役立つ特徴を備えています。

コンテンツの特徴	説明
コンパクトにまとまっている	例えば、スクラム概論は79ページ、プロダクトオーナーの役割は34ページにまとまっています。書籍より少ない分量で要点を掴めます。
実務に十分なカバー範囲	アジャイル・スクラムの開始前の認識合わせに必要な内容から、開発を進めるための内容までを扱っています。

コンテンツ紹介

アジャイル・スクラムの立ち上げ～実践に、特に有用なコンテンツをピックアップして紹介します。

コンテンツ	説明
スクラム概論	スクラムの概念・考え方を短くまとめた資料です。新規学習はもちろん、チーム内でのアジャイル・スクラムの認識合わせにも役立ちます。
プロダクトオーナーの役割	プロダクトオーナーへ求めることを短時間で説明できる資料です。よく話題に挙がるプロジェクトマネージャーとの違いも扱っています。
スプリント運営ガイド	スプリント運営を、進行表として使えるレベル（いつ・何を・どう進めるか）まで具体化したガイドです。



導入の次へ - 運営を補強する実践コンテンツ

[アジャイル・スクラム](#)カテゴリページの下部には、他にも有用なコンテンツが存在します。今回取り上げたコンテンツを活用していく過程で、困りごとがあればチェックしてみてください。

補足：更新日が古い記事もありますが、特定に技術要素に影響を受けないアジャイル・スクラムの運営に焦点を当てているため、現在も活用できます。